



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06(6411)1236
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,249	7.6	15	—	10	—	9	—
25年3月期第1四半期	1,161	△1.1	△17	—	△24	—	△20	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 17百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △36百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.77	—
25年3月期第1四半期	△1.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,977	871	16.9
25年3月期	4,860	854	17.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 840百万円 25年3月期 824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	3.0	40	329.8	25	153.8	15	139.8	1.22
通期	5,200	2.5	100	34.3	70	△2.6	40	△22.3	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	12,317,000株	25年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	47,128株	25年3月期	47,128株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	12,269,872株	25年3月期1Q	12,270,688株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府によるデフレ脱却や経済成長の促進を図る政策への期待感から円安・株高が進行し、企業収益や個人消費の一部に回復傾向が見られました。しかし、海外経済の減速懸念や円安による輸入品価格の上昇等、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループ(当社及び連結子会社)の主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、新設住宅着工戸数が堅調に推移しており、釘の需要も徐々に上向いております。一方、梱包業界向の需要は弱含み横這いで推移しました。

また、電気・輸送機器向事業のうち、電気業界向は需要家の海外移転や欧州の景気停滞の煽りで低迷が続き、自動車関連も中国向け完成車・部品の輸出が落ち込んだことにより、厳しい事業環境が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,249百万円と前年同四半期と比べ87百万円(7.6%増)の増収となりました。営業利益は、電気・輸送機器向(連結子会社)における、固定費の削減効果もあり、15百万円(前年同四半期は17百万円の損失)となり、経常利益は、10百万円(前年同四半期は24百万円の損失)となりました。また、四半期純利益は9百万円(前年同四半期は20百万円の損失)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向事業は、原材料価格の値上がりや急激な円高修正によりOEM商品の仕入れコストが上昇しており、収益性は悪化していますが、消費税増税前の駆け込み需要もあり、平成25年1月から6月までの新設住宅着工戸数は451千戸(前年同期比8.6%増)と回復基調にあります。このような結果、当事業の売上高は、前年同四半期比11.6%増の1,003百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ9百万円増の、59百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、昨年来の円安の効果を受け、需要家の現地調達及び海外シフトが一段落しましたが、同事業向の需要は減少しました。このような結果、当事業の売上高は、前年同四半期比6.4%減の245百万円となりましたが、人件費を含む固定費の削減により、セグメント損益は5百万円の利益(前年同四半期は16百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,977百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比116百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ109百万円増加し2,935百万円となりました。これは主に現金及び預金が61百万円増加し、商品及び製品が、輸入商品価格の値上がりを見越し、安価な商品の確保を行ったことにより49百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ6百万円増加し2,041百万円となりました。これは有形・無形固定資産の設備投資が28百万円に対して減価償却費が37百万円でありましたが、投資有価証券が第1四半期連結会計期間末の株価の上昇により、11百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ99百万円増加し4,106百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ47百万円増加し2,879百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が、主に建設・梱包向において輸入商品代金の支払いが進んだことにより40百万円減少しましたが、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、長期借入金が増加したことが、原材料の値上げと輸入商品価格の高騰を考慮し、所要資金を前倒して調達したため、前年度末に比べ67百万円増加したこと等により、51百万円増加しました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,864百万円(前年度末比163百万円増)となりました。これは、前述の通り、原材料の値上げと輸入商品価格の高騰を考慮し、長期借入金の返済118百万円に対して、230百万円を前倒して借入れたこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、871百万円となり、前年度末に比べ17百万円増加しました。これは、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益が9百万円となったことと、株式の時価が上昇し、その他有価証券評価差額金が増加したことが、前年度末1百万円であったものが8百万円となったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の17.0%から総資産金額の増加により16.9%となり、1株当たり純資産は67.17円から68.53円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に発表いたしました平成26年3月期の第2四半期(累計)及び通期連結業績予想は、この第1四半期決算短信の開示時点において、第2四半期会計期間での売上高及び損益が予想の範囲内で推移しているため、修正しておりません。なお、業績に影響を与える事象が発生しましたら、適宜お知らせいたします。

第2四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

(建設・梱包向)

新設住宅着工は平成24年後半以降回復基調にあり、今年度は、消費税増税前の駆け込み需要、住宅ローン減税の延長、復興需要等もあって、平成25年4月から6月までの期間も前年比11.8%増で推移しており、需要の増加が見込める状況となっております。しかし、材料価格の上昇、円安による海外でのOEM商品の仕入価格の大幅な上昇、電気料金の値上げ等が懸念され、収益面では厳しい状況が続いているため、調達コストの上昇分を販売価格に転嫁することが重要課題であると認識しております。また、今後とも当社の特許品である「木割れ最強釘」及びOEM商品等の拡販を図り、新製品開発に取り組んでまいります。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業の顧客の海外での現地生産の動きは、昨年来の円安効果を受け一段落の状況となり、国内需要への海外調達品シフトも新たな動きは止まってきており、同事業向売上げは横這いの状況にあります。従来からの商社経由での販売に加え、VE提案として、ライセンス品を直接各ユーザー生産技術部隊との間で工数削減・歩留改善を進めており、今後の売上げ増が期待されます。

以上のことにより、当連結会計年度(平成26年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,200百万円、連結営業利益100百万円、連結経常利益70百万円、連結当期純利益40百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	585,559	646,861
受取手形及び売掛金	1,295,344	1,289,066
商品及び製品	540,604	589,762
仕掛品	178,271	171,926
原材料及び貯蔵品	203,584	214,873
繰延税金資産	1,291	1,291
その他	25,925	26,391
貸倒引当金	△4,265	△4,365
流動資産合計	2,826,316	2,935,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	582,700	572,980
機械装置及び運搬具(純額)	465,409	469,479
土地	793,421	793,421
その他(純額)	20,458	19,890
有形固定資産合計	1,861,989	1,855,772
無形固定資産		
ソフトウェア	9,583	8,326
その他	15,134	14,860
無形固定資産合計	24,718	23,187
投資その他の資産		
投資有価証券	100,494	111,704
その他	70,969	74,265
貸倒引当金	△23,582	△23,663
投資その他の資産合計	147,882	162,306
固定資産合計	2,034,590	2,041,265
資産合計	4,860,906	4,977,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,979	849,269
短期借入金	1,690,174	1,785,997
未払法人税等	13,081	1,529
賞与引当金	35,028	18,201
その他	203,182	224,338
流動負債合計	2,831,444	2,879,334
固定負債		
長期借入金	1,010,977	1,078,883
繰延税金負債	605	4,595
退職給付引当金	136,375	126,776
役員退職慰労引当金	24,965	13,918
資産除去債務	2,529	2,538
固定負債合計	1,175,453	1,226,712
負債合計	4,006,897	4,106,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	170,560	180,039
自己株式	△2,898	△2,898
株主資本合計	823,059	832,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096	8,316
その他の包括利益累計額合計	1,096	8,316
少数株主持分	29,852	30,172
純資産合計	854,008	871,027
負債純資産合計	4,860,906	4,977,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,161,956	1,249,694
売上原価	973,067	1,025,225
売上総利益	188,888	224,469
販売費及び一般管理費	206,146	208,931
営業利益又は営業損失(△)	△17,257	15,537
営業外収益		
受取利息	8	14
受取配当金	574	497
受取賃貸料	1,650	4,311
技術指導料	1,500	—
その他	2,210	1,708
営業外収益合計	5,942	6,531
営業外費用		
支払利息	10,688	9,817
その他	2,127	1,941
営業外費用合計	12,815	11,759
経常利益又は経常損失(△)	△24,130	10,309
特別損失		
固定資産除却損	133	—
特別損失合計	133	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,264	10,309
法人税、住民税及び事業税	652	744
法人税等調整額	△1,317	△233
法人税等合計	△665	510
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△23,599	9,798
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,955	319
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,643	9,479

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△23,599	9,798
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△13,215	7,220
その他の包括利益合計	△13,215	7,220
四半期包括利益	△36,814	17,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,861	16,699
少数株主に係る四半期包括利益	△2,952	319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	899,341	262,615	1,161,956	—	1,161,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	1,028	1,066	△1,066	—
計	899,379	263,643	1,163,022	△1,066	1,161,956
セグメント利益又は損失(△)	49,880	△16,539	33,340	△50,598	△17,257

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	33,340
セグメント間取引消去	△1,535
全社費用(注)	△49,062
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△17,257

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,003,845	245,849	1,249,694	—	1,249,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,028	1,028	△1,028	—
計	1,003,845	246,877	1,250,722	△1,028	1,249,694
セグメント利益	59,267	5,699	64,966	△49,429	15,537

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	64,966
セグメント間取引消去	△658
全社費用(注)	△48,771
四半期連結損益計算書の営業利益	15,537

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	865,713	+18.3
電気・輸送機器向	210,035	△13.3
合計	1,075,748	+10.5

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	993,788	+8.6
電気・輸送機器向	266,616	+1.8
合計	1,260,405	+7.0

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	1,003,845	+11.6
電気・輸送機器向	245,849	△6.4
合計	1,249,694	+7.6

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	185,023	15.9	233,018	18.6

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。